

「どうすりゃいいんだチョサクケン」を活用した指導案（小学校高学年・中学校用）

はじめに

1 学習指導案について

- (ア) すぐに全体の流れが把握できるように、なるべくシンプルな表現にしました。もっと詳しいことを知りたい方は、詳細に示されている高校版を参考にしてください。
- (イ) 基本的な展開は、「①アニメ視聴→②ワークシートの発問1の自分の考え記入→③グループでの意見交換→④発表」を2回実施する形です。
- (ウ) 発問は、なるべく正解がないものや多様な意見が出るような内容にしています。児童・生徒には、感じ方や考え方は人によって違うことに気付き、他者の意見を尊重することで自分の考えを広げたり深めたりすることができるという経験をさせてください。
- (エ) 「著作権法の解説」にならないように留意して、著作権の基本的な考え方が身に付くよう指導してください。
- (オ) エピソード3の設定は小学生段階では想定できないため、中学生以上としました。
- (カ) 《解説編》は小中学生には難しく情報量も多いことから、指導者が事前に確認し、必要な部分を選択して児童生徒に説明する形をお勧めします。

2 ワークシートについて

- (ア) 自分事として捉えさせるために、自分の考えを記入する枠を設定しました。
- (イ) 話し合いでは他者の意見をしっかり聞き、尊重することで、自分の考えを広げたり深めたりできるというメッセージを入れてありますので、一言添えて指導してください。
- (ウ) 他人の立場になって考えやすくするために、発問を「あなたは大人気のミュージシャンです。」などと、イメージしやすい形式にしました。
- (エ) 学んだことを家庭で共有するために、ワークシートの最後に、「※今日学んだことを家の人にも伝えて、話し合ってみましょう。」という一文を入れてあります。人に伝えることで理解が深まることと、家庭で共有することで保護者の協力も得られやすくなると期待できます。

学習指導案（１）

1 学年 小学校５・６年生、中学生

2 単元名 「著作権を知ろう」

3 目標

- ・インターネット上の作品や自分や友だちの作品など、全ての作品に著作権があることを知る。
- ・著作権の大切さを理解し、尊重しようとする態度を養う。
- ・著作物を利用する際の、正しい対処方法について理解する。

4 指導上の留意点

- ・著作権法の説明に偏らず、自分が著作権者だったという気持ちで考えるよう声掛けをする。
- ・友達の見解や多様な考えを尊重することが大切であると指導する。

5 使用する映像資料 《アニメ編》エピソード１

6 本時の展開

時間	児童・生徒の活動	指導上の留意点
導入 ５分	・著作権について、聞いたこと、知っていることを挙げて発表する。	・どんな場面で聞いたり知ったりしたかを教師と簡単なやり取りをする。
展開 小 30 分 中 35 分	・《アニメ編》エピソード１のシーン１とシーン２（５分１４秒）を視聴する。 ・個人でワークシートの設問１「もしも著作権がなかったら、どんな社会になると思いますか？」に自分の考えを記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・個人で考えたものを持ち寄り、グループで意見交換を行う。その際、ひとつにまとめることはせず、友達の見解や多様な考えを尊重するように声掛けをする。 ・どんな意見が出たかを発表するように促す。
	・《アニメ編》エピソード１のシーン３とシーン４（２分５秒）を視聴する。 ・個人でワークシートの設問２「どこまで台本を変えるのを許可しますか？」に自分の考えを記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・ここでは著作者の気持ちを考えることがポイントになる。 ・ここでも正解はなく、感じ方は人によって違うこと指導する。
	・教師の解説を聞く。	・《解説編》の中から、児童・生徒の発達段階や実態に応じて選択した内容を、静止画にして提示して解説する。盛りだくさんにならないように留意する。
まとめ 10分	・ワークシートの振り返りを記入する。 ・何人か発表する。 ・教師のまとめを聞く。	・机間指導で、ねらいに合った振り返りを記入している児童・生徒を指名する。 ・著作権法の知識ではなく、著作権の考え方の基本が身に付くように指導する。

学習指導案（２）

1 学年 小学校５・６年生、中学生

2 単元名 「著作物を利用するときに必要なことを知ろう」

3 目標

- ・著作物を利用する際の、正しい対処方法について理解する。
- ・作品を創作した著作者の存在を意識し、尊重と感謝しようとする態度を養う。

4 指導上の留意点

- ・「真似する」と「参考にする」の違いを考えることで著作権者の存在に気づき、感謝の気持ちをもてるようにする。
- ・友達の意見や多様な考えを尊重することが大切であると指導する。

5 使用する映像資料 《アニメ編》エピソード２

6 本時の展開

時間	児童・生徒の活動	指導上の留意点
導入 ５分	・今までに、何かの作品を真似したり参考にしたりして自分の作品をつくった経験を想起する。	・ネガティブに捉えられがちなので無理に発表させる必要はないが、状況によっては発表させてやり取りするのもよい。
展開 小 30 分 中 35 分	・《アニメ編》エピソード２のシーン １ からシーン ３ まで（４ 分 39 秒）を視聴する。 ・個人でワークシート ２ の設問 １『マネする』と『参考にする』の違いを考えましょう。」に自分の考えを記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・個人で考えたものを持ち寄り、グループで意見交換を行う。その際、ひとつにまとめることはせず、友達の意見や多様な考えを尊重するように声掛けをする。 ・どんな意見が出たかを発表するように促す。
	・《アニメ編》エピソード２のシーン ４ とシーン ５（３ 分 30 秒）を視聴する。 ・個人でワークシートの設問 ２「フリー素材を使うときは、どんなことに気をつけたらいいと思いますか。」に記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・ここでは著作権者の気持ちを考えることがポイントになる。 ・ここでも正解はないので、価値観は人によって違うことを指導する。
	・教師の解説を聞く。	・解説動画の中から、児童・生徒の発達段階や実態に応じて選択した内容を、静止画にして提示して解説する。盛りだくさんにならないように留意する。
まとめ 10 分	・ワークシートの振り返りを記入する。 ・何人か発表する。 ・教師のまとめを聞く。	・机間指導して、ねらいに合った振り返りを記入している児童・生徒を指名する。 ・著作権法の知識ではなく、著作権の考え方の基本が身に付くように指導する。

学習指導案（3）

1 学年 中学生以上

2 単元名 「文化祭の公演を配信したり DVD 配布したりするときに気を付けることを知ろう」

3 目標

- ・文化祭の公演をライブ配信したり、DVD にして配布したりするときに、気を付けなければいけない知識を学ぶ。

4 指導上の留意点

- ・このエピソード3は、生徒が自分たちで文化祭のライブ配信やDVD配布をしたいと希望するような場合に最適な内容であるが、この教材を学ぶことで生徒がライブ配信やDVD配布に関心を持ち、今後の活動が発展する可能性もあるので、通常の授業の中でも扱えると考ええる。
- ・小学生ではそこまでの活動は想定できないため、指導学年は中学生以上とした。
- ・放送部員など、配信に関わる生徒だけに動画を視聴させる指導方法も考えられる。
- ・最近は音楽会や文化祭をライブ配信する学校が多くなっているが、エピソード3のように教師も気を付けなければいけない点を理解していないケースが見られる。学校としてライブ配信などをする際には、ぜひ解説編の動画を視聴して理解を深めていただきたい。

5 使用する映像資料 《アニメ編》エピソード3

6 本時の展開

時間	生徒の活動	指導上の留意点
導入 5 分	・教師の問いかけに、経験を想起する。 「文化祭で行った演劇の上演や、音楽の演奏などを学校に来た人だけでなく、より多くの人に観てもらったり聴いてもらったりしたいとき、または自分でも後から見返したいときに、どういう方法が考えられますか？」	・オンライン配信や録画物の提供などの方法が出てくることが予測される。その方法を行う場合に著作権が関係するのかわからないのか、どう思うか、やり取りする。
展開 35 分	・動画エピソード3（2 分 53 秒）を視聴する。 ・個人でワークシートの設問 1「お笑いには著作権はあると思いますか。」に自分の考えを理由とともに記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・個人で考えたものを持ち寄り、グループで意見交換を行う。その際、ひとつにまとめることはせず、友達の意見や多様な考えを尊重するように声掛けをする。 ・どんな意見が出たかを発表するように促す。
	・個人でワークシートの設問 2「文化祭でのオンライン配信ではどんなことに気をつけたらいいと思いますか。」に記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・ここでは動画に出てきた教師たちの疑問について、自分なりの解決策を考えるように知らせる。 ・ここでも正解はないので、価値観は人によって違うことを指導する。
	・教師の解説を聞く。	・解説動画の中から、生徒の発達段階や実態に応じて選択した内容を、静止画にして提示して解説する。盛りだくさんにならないように留意する。

まとめ 10 分	・ワークシートの振り返りを記入する。 ・何人か発表する。 ・教師のまとめを聞く。	・机間指導して、ねらいに合った振り返りを記入している生徒を指名する。 ・著作権法の知識ではなく、著作権の考え方の基本が身に付くように指導する。
---------------------	--	--

学習指導案（４）

1 学年 小学校５・６年生、中学生

2 単元名 「SNS での発信について考えよう」

3 目標

- ・著作権とともに、肖像権という権利があることを知り、肖像権も大切にしようとする。
- ・ライブ等を無断で撮影して配信することで起きる影響を具体的に想像し、適切な判断ができる。

4 指導上の留意点

- ・自分がクリエイターの立場だったらということを強調し、自分事として考えられるようにする。
- ・友達の意見や多様な考えを尊重することが大切であると指導する。

5 使用する映像資料 《アニメ編》エピソード４、エピソード５

6 本時の展開

時間	児童・生徒の活動	指導上の留意点
導入 ５分	・「ミュージシャンのライブやライブ動画にはどんなよさや楽しさがありますか？」という質問に答える。	・ライブならではのよさを確認し、ライブ動画への興味や関心を高める。
展開 小 30 分 中 35 分	・動画エピソード４（２分 18 秒）を視聴する。 ・個人でワークシート④の設問 1「自分のライブを無断で SNS などで発信されたら、どんな問題が起きると思いますか。」に自分の考えを記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・児童・生徒はミュージシャンの立場で想像するように伝える。 ・個人で考えたものを持ち寄り、グループで意見交換を行う。その際、ひとつにまとめることはせず、友達の意見や多様な考えを尊重するように声掛けをする。 ・どんな意見が出たかを発表するように促す。
	・個人でワークシート④の設問 2「1 のような問題が起こらないために、どんなことができるかを考えましょう。」に記入する。 ・グループで意見交換を行う。 ・いくつかのグループが発表する。	・ここでは積極的に問題解決の方法を考えられるように、ミュージシャン、ファン両方の立場で考えることを協調する。 ・ここでも正解はないので、価値観は人によって違うことを指導する。
	・教師の解説を聞く。	・解説動画の中から、児童・生徒の発達段階や実態に応じて選択した内容を、静止画にして提示して解説する。盛りだくさんにならないように留意する。
まとめ 15 分	・動画エピソード５（４分 33 秒）を視聴する。 ・ワークシートの振り返りを記入する。 ・何人か発表する。 ・教師のまとめを聞く。	・まとめとしてのシーン５になる。 ・机間指導して、ねらいに合った振り返りを記入している児童・生徒を指名する。 ・著作権法の知識ではなく、著作権の考え方の基本が身に付くように指導する。